

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	奈良県立大学
設置者名	奈良県

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
地域創造学部	地域創造学科	夜・通信	38		34	72	13	
		夜・通信						
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページにて公表

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	奈良県立大学
設置者名	奈良県

1. 理事（役員）名簿の公表方法

大学HPにて公表 https://www.narapu.ac.jp/corporation/officer/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	国際協力機構（JICA）特別顧問	令和5年4月1日～令和9年3月31日	法人の運営に関わる全般に関すること
常勤	奈良県立大学学長	学長の職にある期間	法人の運営に関わる全般に関すること
常勤	奈良県立大学事務局長	事務局長の職にある期間	法人の運営に関わる全般に関すること
常勤	奈良県立大学附属高等学校長	令和4年4月1日～令和8年3月31日	教育研究担当
非常勤	（公財）大阪ガスグループ福祉財団理事	令和5年4月1日～令和9年3月31日	経営担当
非常勤	佐藤薬品工業（株）代表取締役会長	令和5年4月1日～令和9年3月31日	経営担当
非常勤	（株）南都銀行取締役頭取	令和5年4月1日～令和9年3月31日	経営担当
非常勤	関西大学教授 奈良県税制調査会会長	令和5年4月1日～令和9年3月31日	経営担当
非常勤	公認会計士	平成31年4月1日～令和5年夏頃	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	弁護士（教育・労務管理専門）	平成31年4月1日～令和5年夏頃	組織運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	奈良県立大学
設置者名	奈良県

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
シラバスには、授業毎に以下の①～⑩の項目を記載し、学生に周知しています。 ① 授業概要 ②到達目標 ③授業計画 ④事前・事後学修 ⑤テキスト ⑥参考書 ⑦ 成績評価方法 ⑧関連科目 ⑨備考 ⑩特に関連するディプロマ・ポリシーの項目 併せて、実務経験のある教員と授業科目・単位数についても掲載しています。 また、作成については、毎年年末頃を目途に、来年度授業を担当する全教員に原稿作成依頼を行っています。その後、数回校正を行い、年度末から翌年度初旬にかけて、学内の教育支援システムに掲載し、全学生に案内して公表しています。	
授業計画書の公表方法	大学ホームページにて公表
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

成績評価は、試験の成績、平常の成績及び出席状況等を総合的に判断して評価されます。

また、シラバスには授業毎に「成績評価方法」等を掲載しています。

【成績評価】

- ・令和3年度以降の入学生

合格	秀 (GP4)	90～100 点	到達目標を十分に達成できている非常に優れた成績
	優 (GP3)	80～89 点	到達目標を十分に達成できている優れた成績
	良 (GP2)	70～79 点	到達目標を達成できている成績
	可 (GP1)	60～69 点	到達目標を最低限達成できている成績
不合格	不可 (GP0)	0～59 点	到達目標を達成できなかった成績
—	認	—	点数化ができない成績

- ・令和2年度以降の入学生

合格	秀	90～100 点
	優	80～89 点
	良	70～79 点
	可	60～69 点
不合格	不可	0～59 点

- ・平成31年度までの入学生

合格	優	80～100 点
	良	70～79 点
	可	60～69 点
不合格	不可	0～59 点

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本学では、平成31年度までの入学生は4段階評価（優～不可）、令和2年度以降の入学生は5段階評価（秀～不可）に合わせた評点を設定し、全学生の平均評点を算出することにより評価を行っています。

○評点：本学の4又は5段階評価に合わせた評点を下表のとおり設定

・平成31年度までの入学生

優	良	可	不可
評点：3	評点：2	評点：1	評点：0

・令和2年度以降の入学生

秀	良	良	可	不可
評点：4	評点：3	評点：2	評点：1	評点：0

○平均評点計算方法：

平均評点＝(該当科目単位数×該当科目の評点)の合計÷履修登録該当科目の総単位数

○評価対象科目：前年度までの全ての履修登録科目

客観的な指標の
算出方法の公表方法

大学ホームページにて公表

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学では、以下のとおりディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を定めています。4年次の卒業認定については、卒業対象者が卒業に必要な単位数（124単位）の修得ができていないかを教授会にて諮ったうえで、卒業の認定を行っています。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

奈良県立大学は、「奈良の再発見を通して日本と世界に貢献する」ことを建学の精神に掲げ、日本の歴史文化の原点である奈良の地で、歴史という時間軸と地域という空間軸の両面から現代社会の諸問題を探究し、グローバルかつローカルな視点をもって、国際社会及び地域社会で活躍できる人材を育成します。そのために、以下のような能力を備えた人材の養成を目標とします。

- (1) 多様な価値観が共存する社会状況やその背景を理解する力
- (2) 自ら目標を設定し、その実現のために、自ら考え行動する力
- (3) 自ら課題を発見し、集めたデータを論理的に分析・考察することで、解決策を立案し実行する力
- (4) 他者の意見や思いに耳を傾け、正確に理解し尊重したうえで、自分の見解を建設的に提示し、理解を求めるコミュニケーションの力
- (5) 課題解決のために他者と協働できる協調性、及び人材を結集し協働を促すことができるリーダーシップの力
- (6) 既成の考え方にとらわれず、新たな価値をつくり出す創造力、及びその価値の実現へと邁進できるチャレンジの力

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大学ホームページにて公表

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	奈良県立大学
設置者名	奈良県

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページにて公表 https://www.narapu.ac.jp/corporation/financial/
収支計算書又は損益計算書	大学ホームページにて公表 https://www.narapu.ac.jp/corporation/financial/
財産目録	-
事業報告書	大学ホームページにて公表 https://www.narapu.ac.jp/corporation/financial/
監事による監査報告(書)	大学ホームページにて公表 https://www.narapu.ac.jp/corporation/financial/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学ホームページにて公表 https://www.narapu.ac.jp/corporation/annual/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 地域創造学部
教育研究上の目的（公表方法：大学ホームページにて公表） （概要）我が国が 21 世紀において、さらなる発展を遂げるためには「地域」に視点をおいた教育・研究が必要である。本学は、地域や観光に関する教育・研究を通じて、地域づくりに貢献できる優れた人材を育成するとともに、研究活動の成果を地域に還元し、さらに開かれた大学として民産官学の連携の場を提供することによって、人と社会の未来を創ることを目的とする
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） （概要）本学では、以下のとおりディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を定めています。 ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針） 奈良県立大学は、「奈良の再発見を通して日本と世界に貢献する」ことを建学の精神に掲げ、日本の歴史文化の原点である奈良の地で、歴史という時間軸と地域という空間軸の両面から現代社会の諸問題を探究し、グローバルかつローカルな視点をもって、国際社会及び地域社会で活躍できる人材を育成します。そのために、以下のような能力を備えた人材の養成を目標とします。 （1）多様な価値観が共存する社会状況やその背景を理解する力 （2）自ら目標を設定し、その実現のために、自ら考え行動する力 （3）自ら課題を発見し、集めたデータを論理的に分析・考察することで、解決策を立案し実行する力 （4）他者の意見や思いに耳を傾け、正確に理解し尊重したうえで、自分の見解を建設的に提示し、理解を求めるコミュニケーションの力 （5）課題解決のために他者と協働できる協調性、及び人材を結集し協働を促すことができるリーダーシップの力 （6）既成の考え方にとらわれず、新たな価値をつくり出す創造力、及びその価値の実現へと邁進できるチャレンジの力
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表） （概要）奈良県立大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に掲げた人材を育成するにあたって、個々の学生が主体的に学修に取り組むことを重視します。そのため、「少人数対話型教育」を核とした本学独自の「学習コモンズ制」を設定し、すべての学年において、少人数ゼミと講義及びフィールドワークを有機的に結びつけて教育します。 初年次教育 初年次教育では、大学における主体的な学修のための知的基礎を涵養します。大学での学び方が高校までとは異なることを理解させ、大学での学びの方法を習得させます。リベラルアーツ科目において諸学の基礎を提供し、基礎ゼミにおいて自主的に学ぶことの重要性を体感させ、4年間の学びの全体像をイメージした「学びの設計書」を作成してもらいます。 語学教育 少人数のクラス編成を行い、専門性の高い科目も設定します。交換留学や長期休暇を利用した海外語学研修などを通して、より高い語学能力の育成を図ります。

コモンズゼミ

2～4年次のコモンズゼミでは、学生が教員の指導、助言を受けながら、自ら設定した特定テーマに関する調査、分析、報告、討論を個人ないしグループ単位で行います。能動的な学びの機会を提供し、理論と実践の両面から課題に取り組ませるなど、多面的な学びを促します。

フィールドワーク

フィールドワークでは、学生が国内外を問わず地域の人びとと積極的に関わり、自ら課題を発見し、計画を立案し、独自調査を通じて、課題の解決に取り組むよう指導します。フィールドワークは必修科目として行われるほか、各学年のゼミにおいて適宜実施されます。

コモンズ講義科目

各コモンズの対象領域を系統的に学ぶために、学年進行に即して、基礎から専門にいたる講義科目を編成し、ゼミやフィールドワークと連動した有機的な学びを提供します。

卒業研究

上記の学びのプロセスを経て、最終年次に学生は、多様な学問分野で学んだ幅広い知見と視点を統合し、主体的に卒業研究に取り組みます。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学ホームページにて公表）

（概要）

奈良県立大学は、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に掲げる人材を育成するために、以下のような能力・資質を有する学生を求めます

。本学の教育内容に魅力を感じ、学問に真摯に向きあう姿勢と意志
社会への強い関心を持ち、常識の枠にとらわれず、新たな探究へと向かう好奇心
教員の指示を待って動くのではなく、主体的に学び行動するチャレンジ精神
教員や学生同士で積極的に議論ができるコミュニケーションの基礎的な能力
高等学校までの教育課程で修得した知識や技能をもとに、論理的に思考し表現する力
地域での活動に積極的に参加する意欲
入学者を選抜するため、本学では次の3種類の入学試験を実施します。

学校推薦型選抜

調査書・推薦書により、高等学校教育課程において修得した知識や技能を測る。
志願理由書・面接試験により、本学の教育内容に魅力を感じているか、主体的に学ぶ意志をもっているか、コミュニケーション能力の基礎を身につけているか、地域での活動に意欲をもっているかを測る。
小論文試験により、社会への関心、常識にとらわれずに探究する力、思考力・表現力を測る。

社会人選抜

高等学校卒業証明書等により、高等学校教育課程修了相当の知識や技能を有することを確認する。
志願理由書・面接試験により、本学の教育内容に魅力を感じているか、主体的に学ぶ意志をもっているか、社会人としてコミュニケーション能力を身につけているか、地域での活動に意欲をもっているかを測る。
小論文試験により、社会への関心、常識にとらわれずに探究する力、思考力・表現力を測る。

一般選抜

大学入学共通テスト（外国語・国語・その他 1 科目）により、高等学校教育課程において

修得した知識や技能を測る。

小論文試験により、社会への関心、常識にとらわれずに探究する力、学びへの意欲、思考力・表現力を測る。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学ホームページ及び大学案内パンフレットにて閲覧可能

<https://www.narapu.ac.jp/regional-development/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
地域創造学部	—	17人	17人	1人	人	人	35人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				35人			35人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：大学ホームページにて公表 https://www.narapu.ac.jp/regional-development/teacher/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
地域創造学部	150人	165人	110%	600人	633人	105%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	人	人	%	人	人	%	人	人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
地域創造学部	154人 (100%)	人 (%)	142人 (92%)	12人 (8%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	154人 (100%)	人 (%)	142人 (92%)	12人 (8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>シラバスに、授業毎に以下の①～⑩の項目を記載しています。 また、シラバスは学内の教育支援システムに掲載し、全学生に案内して公表しています。</p> <p>① 授業概要 ② 到達目標 ③ 授業計画 ④ 事前・事後学修 ⑤ テキスト ⑥ 参考書 ⑦ 成績評価方法 ⑧ 関連科目 ⑨ 備考 ⑩ 特に関連するディプロマ・ポリシーの項目</p>
--

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>成績評価は、試験の成績、平常の成績及び出席状況等を総合的に判断して評価されます。授業毎の詳細は、シラバスに掲載しています。 また、4年次の卒業認定については、必要となる単位数等を修得できているかを教授会にて諮ったうえで行っています。</p> <p>【成績評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度以降の入学生
--

合格	秀 (GP4)	90 ～ 100 点	到達目標を十分に達成できている非常に優れた成績
	優 (GP3)	80 ～ 89 点	到達目標を十分に達成できている優れた成績
	良 (GP2)	70 ～ 79 点	到達目標を達成できている成績
	可 (GP1)	60 ～ 69 点	到達目標を最低限達成できている成績
不合格	不可 (GP0)	0 ～ 59 点	到達目標を達成できなかった成績
—	認	—	点数化ができない成績

・令和2年度以降の入学生

合格	秀	90～100点
	優	80～89点
	良	70～79点
	可	60～69点
不合格	不可	0～59点

・平成31年度までの入学生

合格	優	80～100点
	良	70～79点
	可	60～69点
不合格	不可	0～59点

学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
地域創造学部	地域創造学科	124単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページ及び大学案内パンフレットにて閲覧可能。

<https://www.narapu.ac.jp/university/campusmap/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
地域創造 学部	地域創造 学科	535,800 円	(県内生) 176,000 円	86,500 円	
			(県外生) 352,000 円		
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) ・授業料減免、延納・分納の実施 ・本学独自の給付型奨学金の実施 ・配慮が必要な学生に対する修学上の支援の実施 ・海外留学に関する説明会及び個別相談の実施
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) ・大学生活と就職活動の関係性を理解するセミナーの実施 ・勤労観涵養セミナーの実施 ・就職活動を理解するセミナーの実施 ・就職活動で必要な個人の能力開発 ・学内採用説明会の開催 (民間企業・自治体等) ・就職活動の進捗状況に対応した個人カウンセリング ・インターンシップ参加促進支援
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) ・定期健康診断の実施 ・専門のカウンセラーによるメンタル・カウンセリングの実施 ・ハラスメント防止・対策委員会、ハラスメント相談員の設置 ・違法薬物の乱用防止についての啓発

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大学ホームページにて公表 http://www.narapu.ac.jp/university/education/
--